

## 人権を学ぶ・考える 2

### 人権問題のいろいろ～ 同和問題を考える 差別のない社会づくりを

同和問題は、封建社会の身分制度に起因する日本固有の人権問題です。国民の一部の人たちが長い間、経済的、社会的、文化的に低い状態を強いられ、被差別部落の出身というただそれだけの理由で、結婚や就職など社会生活のいろいろな場面で、いわれのない差別を受けてきました。昭和44年以降、各種の特別対策により、住環境などの物的な基盤整備は大きく改善されましたが、今なお結婚・就職に際する身元調査や、同和地区への居住を敬遠するといった心理的差別意識を中心とした課題が残っています。また、同和地区出身者を誹謗・中傷する表現や同和地区の所在を示す書き込みがインターネットに掲載されるということも起きています。同和問題を解決するためには、私たち一人ひとりが同和問題について、より一層理解を深め、因習や偏見、世間体などに縛られず、日常生活を人権の視点から見つめ直すことが大事です。そして、これまでに積み上げてきた成果を踏まえ、同和問題を重要な人権問題の柱に据えながら、広く人権問題とのかかわりを視野に入れた教育・啓発をあらゆる場において進めていく必要があります。